

暑中お見舞い 申し上げます



連日、厳しい暑さが続いておりますが、町民の皆様方にはお元気でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

本年は梅雨期間の雨が例年に比べると比較的少なく、幸いなことに大きな災害にまでは至らなかったことに、ひと安心しているところでございます。

しかしながら、台風をはじめとする災害シーズンはまだこれからです。今後も引き続き災害対策を怠ることのないように、十分な注意をいただきますようお願い申し上げます。

私といたしましても、町民の皆様方の生命と財産を守るという大きな使命を果たすべく、台風や地震等の自然災害対策に加え、新型インフルエンザ対策など、今後も防災及び危機管理対策に万全を尽くしてまいり所存でございますので、町民の皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。

さて、昨今の市町村を取り巻く環境は、人口減少時代の到来、高齢社会の進展、高度情報化・国際化の一層の進展など大きく変化してきておりますが、その対応については、それぞれの地域や自治体のおかれている地理的・社会的状況等によって課題のあり方も大きく異なってくるものと思われまます。

また、地方分権も本格的な実施の段階を迎えつつあり、住民に最も身近な行政機関としての市町村行政に対するニーズは、ますます増大するとともに、地域の状況や特性に応じて地域自らが目標を設定し、その目標の実現に

向けて自主的に行動する事が期待されており、これこそが地方自治の原点といえる自己判断・自己決定・自己責任であると、その責任の重さを痛感しております。

国においては、昨年10月に国土交通省に観光庁が設置されるなど、観光立国に向けた取組みが加速してきており、『無から有を生む産業』とも言われる観光関連産業には大きな魅力があると感じております。

こういった状況の中で、今年7月には『あすばる物産館』に隣接して『おおさき観光案内所』がオープンいたしました。この施設が本町観光産業の核として、本町の自然や人々が有する魅力を広く県内外に発信していただくとともに、グリーンツーリズム等の新たな取り組みを実施していただくことで、地域の活性化が図られることを期待しております。

私ども地方行政を取り巻く環境は依然として厳しく、抱える課題も多種多様でございますが、本町発展のため、そして住民福祉向上のため、今後も全力を傾注してまいります。

皆様には、くれぐれもご自愛くださいますようお願いいたします。して暑中のご挨拶といたします。

平成21年盛夏

大崎町長

他、職員一同